

2022 年 3 月 30 日

農林中央金庫

食農ベンチャーキャピタルファンド AgFunder Fund IV への出資決定について

～食農ベンチャーキャピタルへの投資を通じた日本企業との事業連携促進・食農バリューチェーン強化の取り組み～



農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）は、このたび、AgFunder Advisers LLC.（本社：San Francisco、Partner：Rob Leclerc, Michael Dean, Manuel Gonzalez）が運営するアグテック・フードテック分野に特化した食農ベンチャーキャピタルファンド AgFunder Fund IV（以下「当ファンド」）に対し、本邦金融機関で初の投資家として出資することを決定し、出資契約を締結しました。

当ファンドを運営する AgFunder 社は、アグテック・フードテック分野のイノベーションと投資情報に特化したメディアプラットフォームとして、アグテック・フードテック業界およびスタートアップ企業の成長支援を目的として、2013 年に運営を開始しました。その後、2017 年より食農分野へのベンチャーキャピタル投資業務を開始し、これまでに 60 社以上の特徴ある食農スタートアップ企業への投資を行ってきました。

購読者 10 万人を超えるメディアプラットフォームの強力なネットワーク、食農業界への深い知見、AI や機械学習といった IT 技術を駆使した企業発掘を通じて、投資先企業に対して支援を行い、世界の Ag-tech & Food-tech 領域で独自の地位を築いています。

当ファンドは、北米シリコンバレーおよびシンガポールに拠点を有しており、北米、欧州、アジア（日本を含む）を中心にグローバルを対象地域として、アグテック・フードテック領域の有望なスタートアップ・ベンチャー企業への投資を進める予定です。近年アグテック・フードテック領域への注目が高まっておりますが、当ファンドの主要な投資テーマは①農業オートメーション、②カーボン吸収、③医薬食品、④E コマース・流通、⑤代替タンパク、⑥施設園芸、⑦フードサービス、⑧サプライチェーン・ロジスティクス、⑨イノベーションフード、⑩農地管理プラットフォーム、⑪農業バイオテック等の広範な領域への投資を予定しており、食の持続性への貢献が期待されます。

当金庫は、当ファンドへの出資を通じ、海外のアグテック・フードテック領域における最先端の動向を把握するとともに、ファンド投資先企業と農林中金お取引先の生産者や食品関連企業との事業連携を進めて参ります。また、海外の先進的なノウハウを日本に還元することで、我が国の農林水産業や食品関連産業の成長に寄与することを目指します。

また、本件取り組みを通じて、農林水産業を取り巻くサステナビリティの課題である気候変動や食品ロスの削減等の環境・社会課題についても、当ファンドや投資先企業との継続的な連携・対話を行い、「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」として課題解決に貢献してまいります。

引き続き当金庫は、投融資を通じて環境・社会課題の解決に貢献し、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤） TEL : 03-6362-7172